

# 第1回丹波市自治協議会のあり方懇話会概要

日時：平成30年6月28日  
場所：ハートフルかすが  
会議の詳細は  
丹波市ホームページ



## 懇話会趣旨（丹波市自治協議会のあり方懇話会設置要領抜粋）



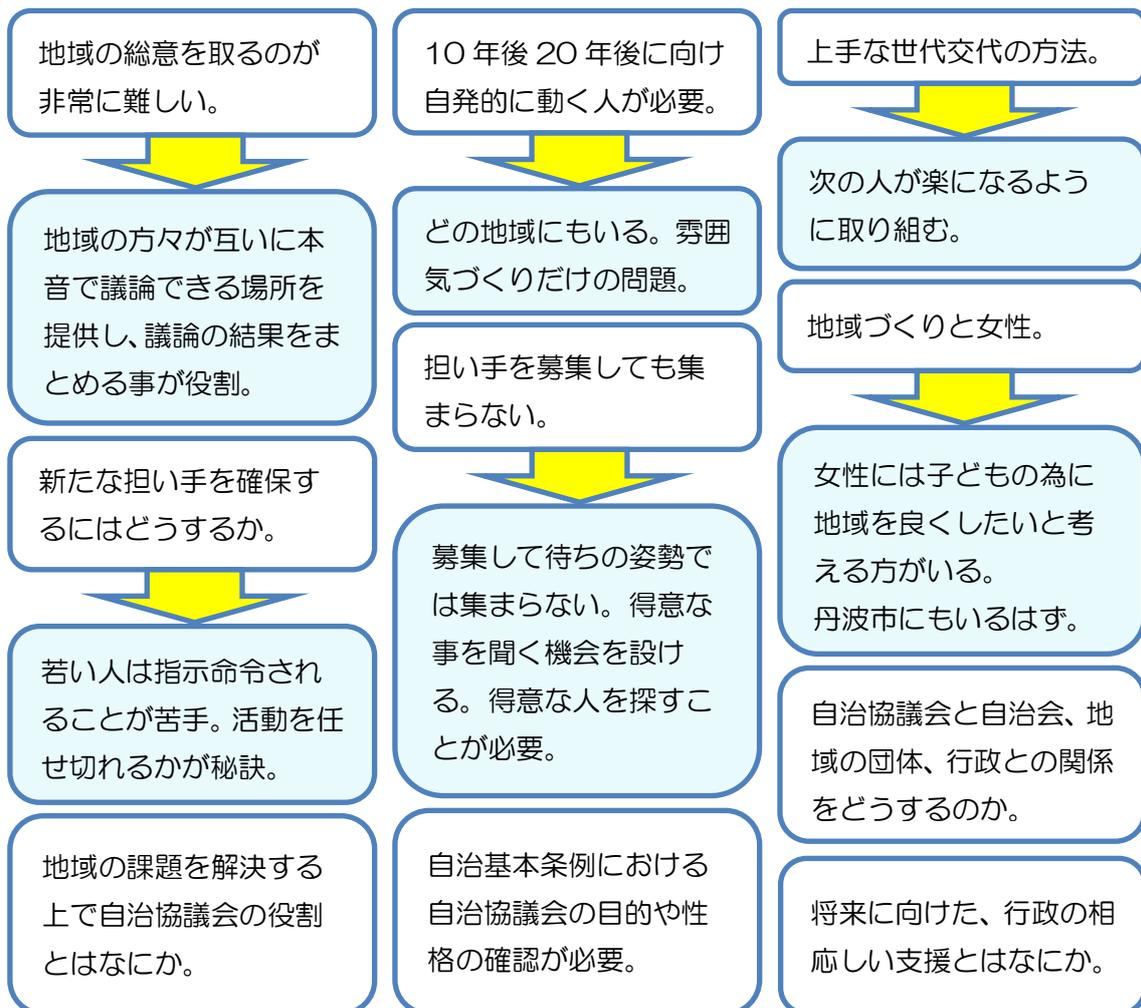
丹波市自治基本条例第12条に規定されている自治協議会が、主体的に地域課題を解決できる多様な力を醸成するため、組織運営及び住民活動を推進する支援策を検討し、市民の共通認識を図ることを目的として丹波市自治協議会のあり方懇話会を設置する。

## 基調講演「みんなで楽しくまちづくり」

- 1 地域活動の見直し〔活動の棚卸し（止めるという英断）+体力の見極め〕  
 統合型：今までの団体を統合し、自治協議会に一本化  
 補完型：今までの団体が担わなかった新たな活動を自治協議会が担う  
 支援型：他団体の活動を自治協議会が支援
- 2 階層組織とネットワーク〔活動により変える〕
- 3 ネットワーク型の展開〔やりたい人にやりたいことを任せる〕



## ◎組織運営の現状と課題





# 第2回丹波市自治協議会のあり方懇話会概要

日時：平成30年8月7日  
 場所：氷上保健センター  
 会議の詳細は  
 丹波市ホームページ



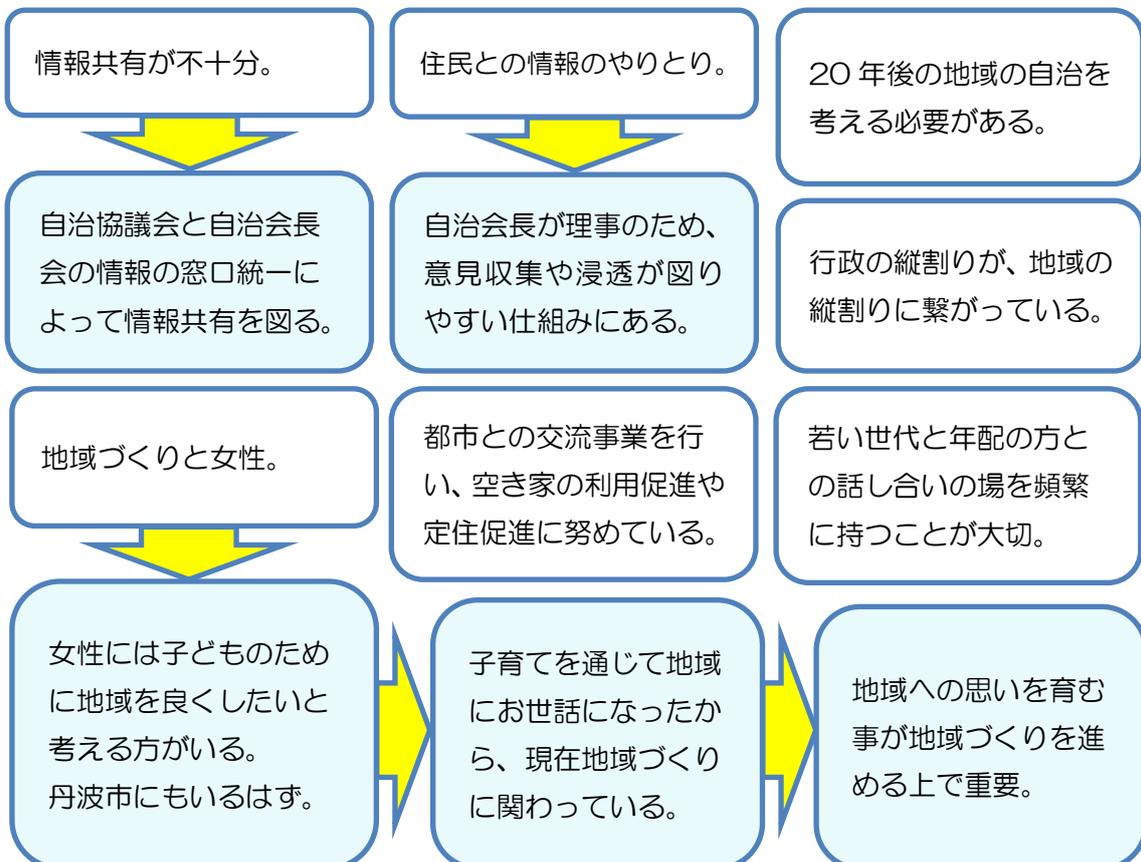
第2回丹波市自治協議会のあり方懇話会を開催しました。懇話会では、「組織運営」、「活動内容」を重点的に「拠点施設」、「人・財源」をテーマに意見を伺い、目指すべき方向性の共通認識を図り、発展できる自治協議会に向けた議論を進めていきます。



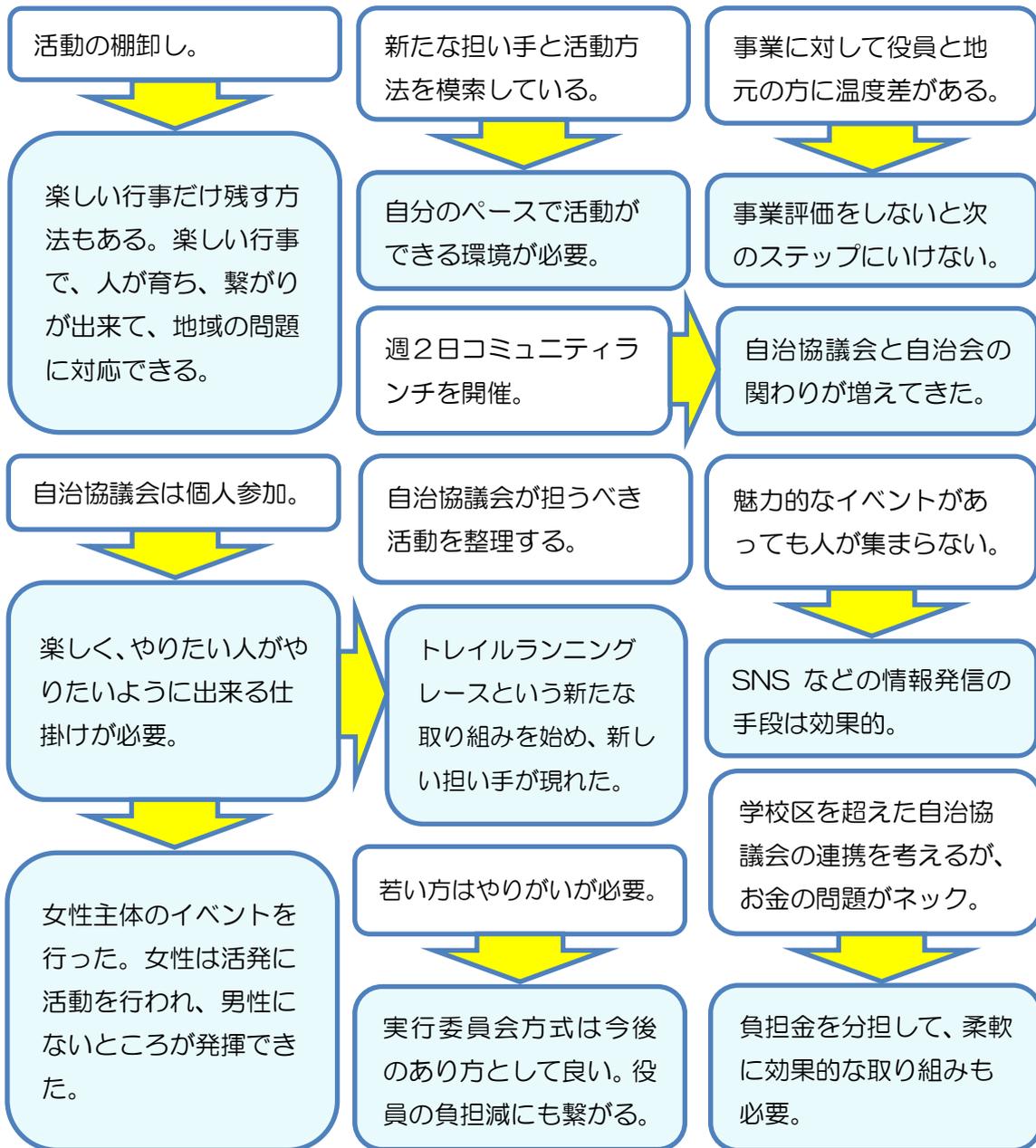
## 自治協議会アンケート（抜粋）



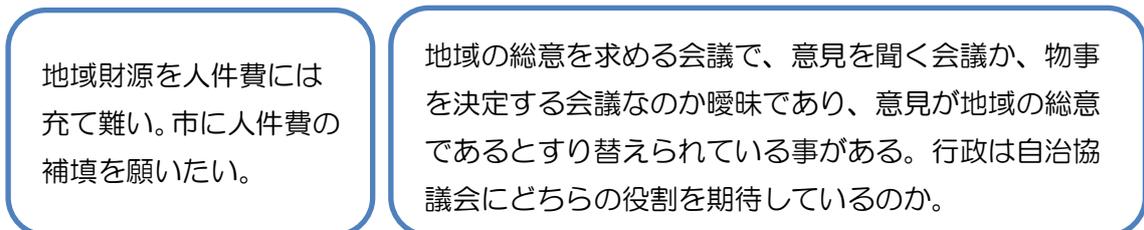
## ◎組織運営の現状と課題



◎活動内容の現状と課題



○行政の現状と課題



# 第3回丹波市自治協議会のあり方懇話会概要

日時：平成30年9月21日  
 場所：ライフピアいちじま  
 会議の詳細は  
 丹波市ホームページ



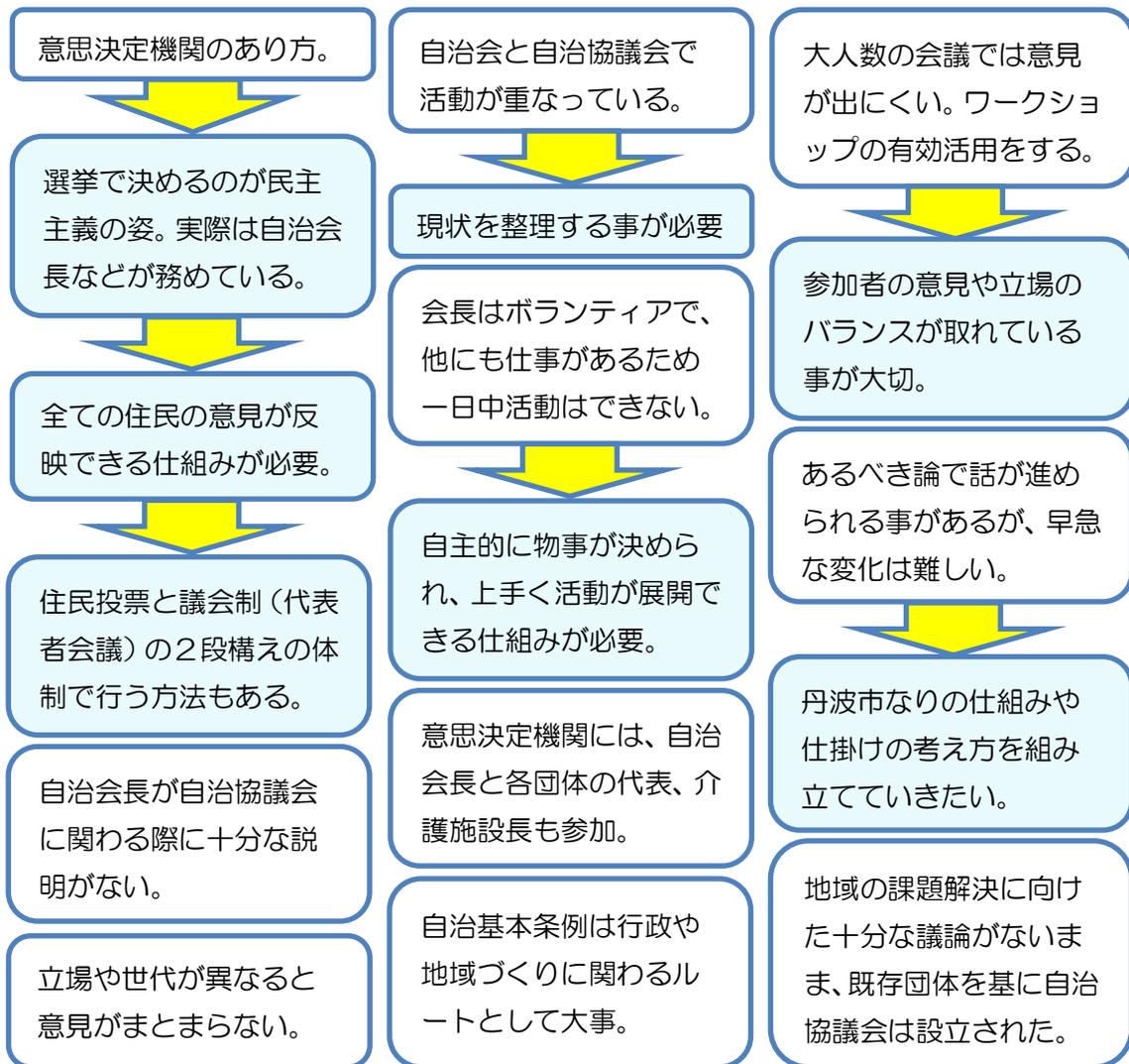
第3回丹波市自治協議会のあり方懇話会を開催しました。懇話会では、「組織運営」、「活動内容」を重点的に「拠点施設」、「人・財源」をテーマに意見を伺いました。  
 次回第4回では中間まとめをおこなう予定で、それに向けて議論を進めていきました。



## 組織の役割の明確化

- 「まちづくり」・・・地域のために行うすべての公益活動の事。
- 「自治」・・・地域の暮らしについて、自分たちで担い手を決めて活動を行う事。
- 「執行機関」・・・実際に活動を行う組織や団体。
- 「意思決定機関」・・・活動の方針やお金について決定するところ。

## ◎組織運営の現状と課題①



## ◎組織運営の現状と課題②

定年年齢引き上げにより、会長の担い手がいない。会長も70歳以上となり意欲が薄れる。組織が弱体化。

自治会加入者のみから会費の徴収をしている地域もある。その議論ができていない。

若い方を地域づくりに登用したが、年配の方との連携が上手く行っていない。

市役所職員などが、若い頃から地域経営に関わって頂きたい。

推進員が地域づくりの鍵である。しかし、日々の業務が忙しく今後のあり方を考えられる環境にない。

給与を頂き活動を行うなら、やりがいが出る。市の事業を委託して人件費相当を賄える手段もあるのではないか。

## ◎活動内容の現状と課題

地域の活動をあまり把握できていない。

住民アンケートを実施し、高齢者福祉が大切との意見がでた。

子育てで、夜の会議に参加することができない。

広報誌の作成を通じて情報収集する。  
(方法1) 各団体の広報誌を自治協議会の広報誌にまとめる。  
(方法2) 広報部会が取材を行う。互いに顔を合わせられる。  
(方法3) フェイスブックなどSNSを通じた活動報告の仕組み。

研修会を開き、6つの地域で採用された。現在も新たな研修会を検討している。

情報をもらえればHP作成をされると言われた方もいる。担い手に合った活動方法がある。

各部会に広報委員を配置して活動報告を行い広報にまとめていくという手法を取っている。

地域経営という考え方。地域の課題をどのように解決するのか考える事が大事。

## ○行政の現状と課題

行政の今後の方針や自治協議会に期待する事柄を明確にして頂きたい。

